

(19) 世界知的所有権機関  
国際事務局(43) 国際公開日  
2002 年 2 月 7 日 (07.02.2002)

PCT

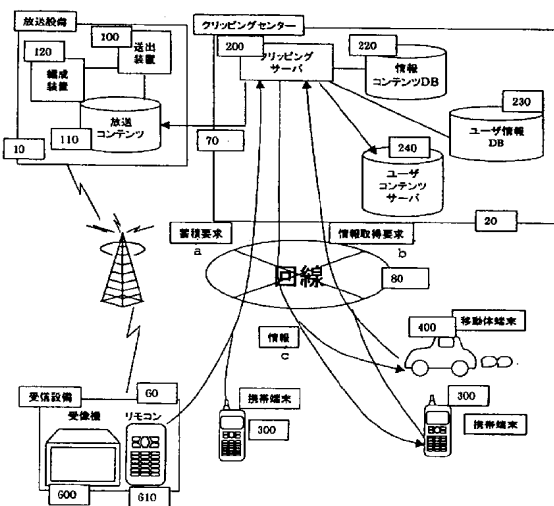
(10) 国際公開番号  
WO 02/11448 A1

- (51) 国際特許分類: H04N 7/173
- (21) 国際出願番号: PCT/JP01/06267
- (22) 国際出願日: 2001 年 7 月 19 日 (19.07.2001)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:  
特願2000-227883 2000 年 7 月 27 日 (27.07.2000) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 株式会社  
インフォシティ (KABUSHIKI KAISHA INFOCITY)  
[JP/JP]; 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷二丁目7番5号  
Tokyo (JP).
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 山本一秀 (YAMAMOTO, Isshū) [JP/JP]; 〒150-0002 東京都渋谷区  
渋谷二丁目7番5号 株式会社 インフォシティ内 Tokyo  
(JP).
- (74) 代理人: 澤田俊夫 (SAWADA, Toshio); 〒104-0041 東京  
都中央区新富一丁目1番7号 銀座ティーケービル6階  
澤田・宮田・山田特許事務所 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (国内): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB,  
BG, BR, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK,  
DM, DZ, EC, EE, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU,  
ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS,  
LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NO,

[続葉有]

(54) Title: INFORMATION ACCESSING DEVICE AND METHOD AND INFORMATION PROVIDING DEVICE AND METHOD

(54) 発明の名称: 情報アクセス装置および方法ならびに情報提供装置および方法



(57) Abstract: An information providing device for enabling the user to view the content that has been broadcast or its related content. A viewer views a television broadcast on a television receiver (600). When the viewer wants to clip a content, the viewer operates markbutton (611) of a remote controller (610). A clipping request containing the program identifier and user identifier is sent to a clipping server (200) of a clipping center (20) through a line network (80), and the program identifier is registered under the user identifier in a user information database (230). When the user views a registered content, the user operates information button such as of a portable terminal (300) to send an information viewing request to the clipping server (200). The clipping server (200) refers to the program content registered with the relevant user identifier, creates a menu, and sends it to the portable terminal (300). The user selects a content in the menu displayed on the portable terminal (300), sends a transmission request to the clipping server (200), and views the content sent in response to the request.

10...BROADCASTING FACILITY  
120...ORGANIZING DEVICE  
100...DELIVERY DEVICE  
110...BROADCAST CONTENTS  
70...CLIPPING CENTER  
200...CLIPPING SERVER  
220...INFORMATION CONTENT DB  
240...USER CONTENT SERVER  
230...USER INFORMATION DB  
a...STORED REQUESTS  
b...INFORMATION ACQUISITION REQUEST  
c...INFORMATION  
60...RECEIVING FACILITY  
600...RECEIVER  
610...REMOTE CONTROLLER  
300...PORTABLE TERMINAL  
400...MOBILE TERMINAL

[続葉有]



NZ, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SG, SI, SK, SL, TJ, TM, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VN, YU, ZA, ZW.

添付公開書類:  
— 国際調査報告書

(84) 指定国 (広域): ARIPO 特許 (GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, TR), OAPI 特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(57) 要約:

放送で視聴したコンテンツや関連コンテンツをどこでも閲覧等できるようにする情報提供装置。視聴者はテレビジョン受像機600でテレビ放送を視聴し、コンテンツをクリップするときにはリモコン610の「マーク」ボタン611を操作する。番組識別子およびユーザ識別子を含むクリッピング要求が回線網80を介してクリッピングセンタ20のクリッピングサーバ200に送られ、ユーザ情報データベース230にユーザ識別子の下、番組識別子が登録される。登録したコンテンツを閲覧するには携帯端末300等の「情報」ボタンを操作して、情報閲覧要求をクリッピングセンタ20のクリッピングサーバ200に送る。クリッピングサーバ200は該当するユーザ識別子で登録されている番組コンテンツを参照してメニューを生成して携帯端末300等に返す。ユーザは携帯端末300等でメニューを用いてコンテンツを選択して送信要求をクリッピングサーバ200に送り、この要求により送られてくるコンテンツを閲覧する。

## 明 細 書

情報アクセス装置および方法ならびに情報提供装置および方法

## 5 技術分野

この発明は、放送サービスのコンテンツまたはこれに関連するコンテンツにネットワークを介してアクセスできるようにする情報アクセス技術または情報提供技術に関する。

## 10 背景技術

現在、インターネット上のウェブサーバにクライアント装置を用いてアクセスし種々のホームページを閲覧することができる。クライアント装置は固定して配置された情報端末に限られない。移動体通信の移動局例えば携帯電話機やカーナビゲーションシステムを用いて、インターネット接続を行い、ホームページにアクセスすることも可能となっている。

ところで、地上波アナログ放送、BSデジタル放送等の放送サービスを利用してコンテンツを配信できるようになってきている。その上、これらのコンテンツを作成する際に採用可能な共通化されたデータ構造（たとえばXML：拡張可能マークアップ言語）から、携帯電話機やカーナビゲーションシステム等、個々のメディアへの変換も可能となっている。したがって、放送サービスのコンテンツとネットワーク上のコンテンツとを連携させることが期待される。例えば、放送されているコンテンツや関連するコンテンツをインターネットを介してアクセス可能にし、事後的に情報端末や携帯電話機、カーナビゲーションシステム等を用いて閲覧できるようにすることが望まれる。

しかし、たとえ本来のコンテンツが放送サービスに関連するものでも、ユーザがインターネットを介してコンテンツを閲覧する限り、そのコンテンツにアクセスするには、インターネット上の検索エンジンを用いるか、放送での告知によりURLなどに代表されるアドレスをユーザみずから指定する必要がある。

従来は、放送サービスで送られてくる情報を有効に利用できず、放送サービスと通信サービスとを連携させることができなかった。

#### 発明の開示

- 5       この発明は、以上の事情を考慮してなされたものであり、電波またはCATV等の放送サービスにより放送された番組の情報と通信ネットワーク上のコンテンツ例えばインターネット上のコンテンツをシームレスにリンクし、かつ放送された情報および関連情報へのアクセスを検索やアドレスの入力行為を行わずに行なえるようにすることを目的としている。
- 10       この発明によれば、上述の目的を達成するために、請求の範囲に記載のとおり構成を採用している。ここでは、請求の範囲の記載について補充的に説明を行なっておく。
- この発明の具体的な構成では、放送されるコンテンツ内に、そのコンテンツを一意に識別可能とする識別子を含ませる。ユーザがそれに関する情報を望んだ時
- 15       点において、クリック操作またはテレビリモコン等のボタンの操作で情報蓄積要求を指示する。この結果、コンテンツの識別子と情報蓄積要求を指示したユーザの識別子とがネットワークを通じてサーバ側に伝送され、情報蓄積要求を指示したユーザの識別子で一意に決定される仮想的なディレクトリにコンテンツの識別子が蓄積されていく。放送されたコンテンツは、前もって、あるいはユーザの蓄
- 20       積要求に基づいて蓄積されている。ユーザが情報閲覧を要求すると、ユーザの識別子に基づいてコンテンツの識別子を取り出され、これに基づいて、移動体通信端末やインターネットに接続可能な端末に対して適応した形式に変換された情報をユーザに供給する。この変換は情報閲覧要求時に実行されてもよいし、予め実行されていてもよい。
- 25       さらにこの発明を説明する。この発明によれば、上述の目的を達成するために、情報アクセス装置に：放送信号を受信する手段と、受信した放送信号に含まれる放送コンテンツを再生する手段と；ユーザ特定情報と、上記放送コンテンツまたは上記放送コンテンツに関連する関連コンテンツを特定するコンテンツ特定情報とを含む関係付け要求であって、上記ユーザ特定情報により特定されるユーザア

カウントに上記コンテンツ特定情報により特定されるコンテンツを関係付けるよう要求する関係付け要求を、所定の送信宛先に送信する手段と；ユーザ特定情報により特定されるユーザアカウントに關係付けられているコンテンツの送信を要求する手段とを設けるようにしている。

- 5       この構成においては、放送コンテンツ等をユーザアカウントに一旦関連付けその後ユーザアカウントを指定して所望の情報を取得することができる。

ユーザアカウントはユーザごとに1または複数個割当てられる。ユーザは使用端末（携帯電話機、ナビゲーションシステム、通常の情報端末）ごとにあるいは目的別にアカウントを取得してもよい。放送コンテンツ等をユーザアカウントに  
10    関連付けるには、放送コンテンツ等に割り当てられたコンテンツ識別子をユーザアカウントに登録する。

関連付け要求のユーザ特定情報は、ユーザID、ユーザ装置例えば携帯電話機の加入者番号、加入者番号にサブアドレスや制御コードを加えたもの、IPアドレス、通信装置に物理的に登録された番号例えばMACアドレス等である。加入  
15    者番号は発信者番号通知サービスにより提供されてもよい。加入者網で関連付け要求を行なう場合にはユーザ特定情報やコンテンツ特定情報の少なくとも一部を呼設定メッセージに含ませて送信してもよい。ユーザアカウントはユーザ特定情報と一対一に対応付けられていてもよいし、一対多に対応付けられていてもよい。また、1つのユーザ特定情報で複数のユーザアカウントを同様に扱うようにして  
20    もよい（複数のユーザアカウントに同時に登録できる）。ユーザアカウントは、システム上必ずしも「ユーザアカウント」として管理されている必要はなく、例えば、ユーザ特定情報例えばユーザ識別子として管理されていてもよい。

関連付け要求のコンテンツ特定情報は、コンテンツ識別子であってもよいし、コンテンツの放送時刻および放送チャネルであってもよい。放送時刻は、放送サ  
25    イトから放送信号により放送信号受信サイトに送られてもよいし、放送信号受信サイトのクロックで計時してもよいし、コンテンツ管理サイトのクロックで計時してもよい。放送信号受信サイトのクロックやコンテンツ管理サイトのクロックを用いる場合には放送側のクロックと同期することが好ましい。関連付け要求がコンテンツ管理サイトに送られてきた時、コンテンツ管理サイトのクロックがこ

れを計時し、コンテンツの放送時刻と扱えば、コンテンツ特定情報として時刻情報を送る必要がなくなる。

コンテンツの放送時刻を放送局サイトから放送信号受信サイトに送る場合に、コンテンツに付随して送ってもよいし、コンテンツの一部として送ってもよい。

- 5   コンテンツに付随して識別情報を送る場合には、例えば、特開平 1 0 - 5 1 7 5 2 号公報に記載されるようなコンテンツのボディに付随するエレメントとして記述することができる。またコンテンツの一部として送る場合には、XML（拡張可能マークアップ言語）のタグを用いたり、HTML（ハイパーテキストマークアップ言語）のメタタグ等を用いたりすることができる。

- 10   放送信号は、テレビジョン放送でも、ラジオ放送でもよい。デジタル放送でもアナログ放送でもよい。伝送チャネルは、地上波でもよいし、衛星を用いたものでもよいし、有線（ケーブルTV）を用いたものでもよい。

- 15   放送コンテンツは例えばBMLのコンテンツである。放送コンテンツに関連する関連コンテンツは放送されるコンテンツ例えば音声や映像データに関連してその内容を記述する文書（HTML文書）やデータ（電話番号、地図情報、URL等である）である。

- 20   関係付け要求は、TCP/IPプロトコルにより送信してもよいし、通常の通話のプロトコルにより送信してもよい。TCP/IPプロトコルによる場合にはHTTP等種々のアプリケーションを利用できる。通信網としてはインターネットを利用してよいし、プライベートなIP網を利用してよいし、通信網の運営会社が提供するパケット網等を用いてもよい。通話を用いる場合にはMF T信号等の制御信号を用いることができる。CTI（コンピュータテレフォニーインテグレーション）を用いてもよい。

- 25   関係付け要求は、放送信号の受信装置（受信機能付きの情報端末を含む）、その遠隔制御装置（リモコン）、固定電話機、携帯電話機等を用いて行なうことができる。宛先は、例えば、加入者番号やIPアドレスにより特定される。

コンテンツの送信要求も、TCP/IPプロトコルにより送信してもよいし、通常の通話のプロトコルにより送信してもよい。TCP/IPプロトコルによる場合にはHTTP等種々のアプリケーションを利用できる。通信網としてはイン

ターネットを利用してもよいし、プライベートなIP網を利用してもよいし、通信網の運営会社が提供するパケット網等を用いてもよい。通話を用いる場合にはMFT信号等の制御信号を用いることができる。CTIを用いてもよい。

また、この発明の他の側面によれば、上述の目的を達成するために、情報提供  
5 装置に：放送コンテンツを含む放送信号を送信する手段と；上記放送信号に含まれる放送コンテンツまたは上記放送コンテンツに関連する関連コンテンツを上記放送コンテンツまたは上記関連コンテンツを特定するコンテンツ特定情報に関連付けて記憶するコンテンツ記憶手段と；ユーザ装置から送信されてくる関連付け要求であって、ユーザ特定情報およびコンテンツ特定情報を含み、上記ユーザ特定情報により特定されるユーザアカウントに上記コンテンツ特定情報により特定  
10 されるコンテンツを関係付けるよう要求する関係付け要求を、受信する手段と；上記関連付け要求に基づいて上記ユーザ特定情報により特定されるユーザアカウントに上記コンテンツ特定情報により特定されるコンテンツを関連付ける手段と；ユーザ装置から送信されてくるコンテンツ送信要求に基づいて対応するユーザアカウントに関連付けられているコンテンツを、上記コンテンツ記憶手段から  
15 取り出して、上記ユーザ装置に送信する手段とを設けるようにしている。

この構成においては、ユーザの要求に基づいて放送コンテンツ等をユーザアカウントに一旦関連付け、その後ユーザアカウントを指定して所望の情報を取得することができる。

この構成において、上記ユーザ装置の種別を判別する手段とをさらに設け、上記ユーザ装置に合致したコンテンツを上記ユーザ装置に送信するようにしてもよい。ユーザ装置のコンテンツのフォーマットとしては、通常のHTML、携帯電話機で用いられるコンパクトHTML、MML（モバイルマークアップ言語）、WML（ワイヤレスマークアップ言語）、HDML（ハンドヘルドデバイス  
25 マークアップ言語）等である。これにより通常のウェブ端末のみでなく種々のユーザ装置に応じて適合的に情報を提供できる。

なお、この発明は装置またはシステムとして実現できるのみでなく、方法としても実現可能である。また、そのような発明の一部をソフトウェアとして構成することができることはもちろんである。またそのようなソフトウェアをコンピュ

ータに実行させるために用いるソフトウェア製品（記録媒体）もこの発明の技術的な範囲に含まれることも当然である。

#### 図面の簡単な説明

- 5 第1図は、この発明の実施例1を全体として示すブロック図である。  
第2図は、実施例1の要部の構成を説明するブロック図である。  
第3図は、実施例1のテレビ受像機600のリモコン610の構成例を示す図である。
- 第4図は、実施例1の携帯電話機300の構成例を示す図である。
- 10 第5図は、実施例1の動作を説明するフローチャートである。  
第6図は、実施例1の動作を説明するフローチャートである。  
第7図は、実施例1の動作を説明するフローチャートである。  
第8図は、実施例1のユーザ情報データベースを説明する図である。  
第9図は、この発明の実施例2の要部を説明するブロック図である。
- 15 第10図は、実施例2の動作を説明するフローチャートである。  
第11図は、実施例2の動作を説明するフローチャートである。  
第12図は、実施例2の動作を説明するフローチャートである。  
第13図は、実施例2の情報コンテンツデータベースを説明する図である。  
第14図は、実施例2のユーザ情報データベースを説明する図である。
- 20

#### 発明を実施するための最良の形態

以下、実施例を参照してこの発明を詳細に説明する。

#### [実施例1]

- 25 まず、この発明の実施例1の情報提供システムについて説明する。この実施例では、以下詳述するように、クリッピングセンタ20に設けた情報コンテンツデータベース220にコンテンツを保管し（例えばXML文書により保管）、このコンテンツを放送用コンテンツに変換して放送設備10で放送する。ユーザは放送番組を視聴してその番組をクリッピングセンタ20に「マーク」指示する。ク



リップングセンタ 20 は、「マーク」した番組に対応するコンテンツをユーザ特定情報に関連付けて登録する。この後、ユーザが情報閲覧を要求すると、ユーザの情報端末の仕様に合致したフォーマットに変換されたコンテンツが、ユーザの情報端末に供給される。

- 5      なお、ここではつぎのことを前提としている。もちろん、このような前提は単なる事例にすぎず、種々の構成を採用できる。

①放送に使用される伝送路はBS（放送衛星）デジタルとする（地上波アナログ、地上波デジタル等にも応用は可能）。

- 10      ②放送されるコンテンツはBML（ブロードキャストマークアップ言語）で記述されるものとし、放送コンテンツと呼称し、ユニークな識別子を有する。またこの識別子は情報コンテンツデータベース 220 内のデータと同期しているものとする。

③放送受信機はTCP/IP、HTTPのプロトコルスタックが使用可能とする。（回線のみ、無手順であっても可能）

- 15      ④移動体端末についてはi-mode（株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモの商標）端末を事例に使用する。

⑤放送を視聴する放送受信機はテレビ受像機と呼称する。

⑥「個人識別情報または端末識別情報」を単に識別情報と呼称する。

⑦マークとは番組情報を取得するために指定する行為とする。

- 20      図 1 は、この実施例 1 を全体として示しており、この図において、情報提供システムは、放送局の放送設備 10 およびリップングセンタ 20 を含んで構成されている。放送設備 10 およびリップングセンタ 20 は専用線サービス、IP 網サービス、仮想LANサービス等の通信回線 70 を用いて接続されている。両者を同一サイトに置き、LAN接続してもよい。放送設備 10 は、BS デジタル  
25      テレビジョン放送サービスを提供するものである。もちろん、地上波放送、通信衛星放送、有線放送サービスを提供するものでもよく、その放送内容もテレビ、ラジオ、データ、複合形態のいずれでもよい。また放送信号の形態もデジタルで

もよいし、アナログでもよい。ユーザ（視聴者）は例えば自宅（受信設備 60）においてテレビ受像機 600 を用いて放送信号を受信して再生する。テレビ受像機 600 は、セットトップボックス、テレビ受像機能付き情報端末等でもよい。ユーザは放送された番組を、クリッピングセンタ 20 を用いて自分のアカウント  
5 にマークすることができる。この後、ユーザは携帯端末（携帯電話機 300、ナビゲーションシステム 400 等）を用いて任意の場所からクリッピングセンタ 20 にアクセスし、マークした番組を閲覧することができる。ネットワークに接続された据え置き型のパーソナルコンピュータ（図示しない）等の固定情報端末を用いて閲覧することもできる。

10 放送設備 10 は、放送信号送出装置 100、放送コンテンツを記憶する外部記憶装置 110、放送番組の編成を行なう編成装置 120 等を有している。

クリッピングセンタ 20 は、クリッピングサーバ 200、情報コンテンツデータベース 220、ユーザ情報データベース 230、ユーザコンテンツサーバ 240 等を有している。情報コンテンツデータベース 220 は例えば XML で記述されたコンテンツを保持しており、クリッピングサーバ 200 または他のサーバが  
15 XSLT 等を用いて他のメディアの XML 等に変換する。この結果、MML、HTML、CHTML、WML、MML、HDML 等のフォーマットのコンテンツを利用できる。BML フォーマットに変換されたコンテンツは放送設備 10 に送られ放送コンテンツとして外部記憶装置 110 に記憶される。また、携帯電話機  
20 やナビゲーションシステムの各文書フォーマットに変換されたコンテンツがユーザコンテンツサーバ 240 に保管される。

クリッピングセンタ 20 のクリッピングサーバ 200 は、種々のサービスを提供し、例えば、図 2 に示すようにコマンド受付部 201、端末調査部 202、メニュー作成部 204、コンテンツ変換部 203 を有している。

25 受信設備 60 のテレビ受像機 600 は、放送信号を受信して再生するとともに、通信機能を有しており、クリッピングセンタ 20 にマーク要求等を送信することができる。

図 3 はテレビ受像機 600 を制御するリモコン 610 を示しており、このリモコン 610 はテレビ受像機 600 を制御するためのキーを具備し、例えば赤外線

を用いて制御信号をテレビ受像機 600 に送信する。微弱電波チャネル例えば Blue Tooth (商標) を用いて制御信号をテレビジョン受像機 600 に送信してもよい。このリモコン 610 はコンテンツをマークするために「マーク」ボタン 611 を有している。この「マーク」ボタンの操作に基づいて所定の制御信号がテレビ受像機 600 に送られ、テレビ受像機 600 の送信機能がクリッピングセンタ 20 にマーク要求を行なう。なお、リモコン 610 が通信機能を有し、リモコン 610 からクリッピングセンタ 20 にマーク要求等を送信するようにしてもよい。マーク要求は回線網 80 を介してクリッピングサーバ 200 のコマンド受付部 201 に送られる。例えば TCP/IP 接続により HTTP プロトコルで送られる。この回線網は、クリッピングセンタ 20 がどのような公衆網に接続されるかにより異なる。回線網 80 は、移動体通信の運営会社が提供するパケット交換網の場合もあるし、移動体通信または固定電話の通話網の場合もあるし、インターネットの場合もあるし、プライベートな通信網の場合もある。

携帯電話機 300 やカーナビゲーションシステム 400 は回線網 80 を介してクリッピングセンタ 20 に接続することができる。携帯電話機 300 は図 4 に示すように情報閲覧要求を行なう「情報」ボタン 302 を有しており、この「情報」ボタン 302 を操作することにより情報閲覧をクリッピングセンタ 20 に送り、所望の情報を閲覧することができる。これについては図 7 を参照して後に詳述する。カーナビゲーションシステム 400 にも同様なボタンを設けて情報閲覧要求を行なうことができる。もちろん、メニューを表示・操作して要求を行なってもよい。なお、図 4 の携帯電話機 300 に「マーク」ボタン 301 を設けて「マーク」操作を行なうようにしてもよい。

つぎにこの実施例の動作について説明する。

まず、図 2 を参照して動作の概要について説明しておく。図 2 において、まず、情報コンテンツデータベース 220 から放送を行なうコンテンツが取り出され放送設備 10 に送られ (図 1)、同時にクリッピングサーバ 200 のコンテンツ変換部 203 により携帯端末等のフォーマットに変換されてユーザコンテンツサーバ 240 に保管される (X0)。ユーザ (視聴者) は受信設備 60 においてテレビ受像機 600 を用いてテレビ放送を視聴する。ユーザはテレビ放送の番組をマ

ークするときにはリモコン 610 のマークボタン 611 (図 3) を操作する。そうすると、テレビ受像機 600 は、TCP/IP でクリッピングセンタ 20 のクリッピングサーバ 200 と接続し、HTTP を用いて識別情報および番組識別子をクリッピングサーバ 200 に送信する (X1)。クリッピングセンタ 20 のユーザ情報データベース 230 にはユーザまたは利用端末ごとにアカウント (エン  
5 トリ) が設けられている。ユーザのマーク操作に応じてその識別情報および番組識別子が送信されてくると、識別情報に対応するアカウントに番組識別子が登録される (X2)。ユーザ情報データベース 230 は例えば図 8 に示すようなデータをマーク操作ごとに記憶する。なお、図 8 の「ユーザ識別子」は個人識別情報  
10 (個人識別子ともいう) または端末識別情報 (端末識別子ともいう) である。つぎにユーザが携帯電話機 300 を用いて閲覧要求をクリッピングサーバ 200 に送信すると、コマンド受付部 201 がこれを受け付ける (X3)。そしてクリッピングサーバ 200 から携帯電話機 300 にメニュー表示やコンテンツが送信される (X4)。なお、端末調査部 202 がユーザの端末の種類を判別してそれに  
15 合致したメニューおよびコンテンツを送信する。

図 5 は、コンテンツ生成および番組編成の動作を示している。図 5 において、コンテンツ変換部 203 は、情報を管理しているコンテンツデータベース 220 から XML ファイルを取得し (S1000)、放送コンテンツを生成する段階で、当該放送コンテンツに付与される番組を一意に特定する識別子および放  
20 送コンテンツを生成する (S1001)。また他のメディアに合致したコンテンツを生成する (S1002)。さらに、生成された放送コンテンツは外部記憶装置 (放送コンテンツデータベース) 110 に格納される (S1003)。また端末別 (携帯電話、移動体通信端末など) に対応したコンテンツを、番組を一意に特定する識別子と関連付けてユーザコンテンツサーバ 240 に格納す  
25 る (S1004)。

図 6 は、視聴者 (ユーザ) がマーク操作を行なったときの動作を示す。図 6 において、視聴者は図 2 のテレビ受像機 600 で、放送番組を視聴中 (S2000) に当該番組情報を取得したいと考えたときに、リモコン 610 が持つマ

- ークボタン 6 1 1 (図 3) または携帯電話機 3 0 0 が持つマークボタン 3 0 1 (図 4) を操作し (S 2 0 0 1)、当該番組の番組情報をマークするためにクリッピングサーバ 2 0 0 内のコマンド受付部 2 0 1 に命令を送る (S 2 0 0 2)。クリッピングサーバ 2 0 0 内のコマンド受付部 2 0 1 は、マークの要求により送られてくる、ユーザを識別する識別子 (ユーザ識別子、個人識別子、端末識別子ともいう) および番組 (コンテンツ) を特定する識別子 (番組識別子またはコンテンツ識別子ともいう) を受け取り、ユーザ情報データベース 2 3 0 に例えば図 8 に示すようなフォーマットで格納する。こうして番組の識別子がユーザ別に格納管理される (S 2 0 0 3)。
- 10 図 7 は、マークした番組を閲覧するときの動作を示している。図 7 において、指定した番組の情報を携帯電話機等から閲覧したいユーザは、携帯電話機 3 0 0 の情報ボタン 3 0 2 (図 4) を押下することによって、または回線接続可能なテレビ受像機 6 0 0 に付属の制御機器であるリモコン 6 1 0 の同様なボタン (図示しない) を押下することによってクリッピングサーバ 2 0 0 内のコマンド受付部 2 0 1 に、表示要求命令を送信する (S 3 0 0 1)。命令を受けたクリッピングサーバ 2 0 0 内のコマンド受付部 2 0 1 は、クリッピングサーバ 2 0 0 内の端末調査部 2 0 2 により、命令発信元の端末種およびユーザを特定する識別子または端末を特定する識別子を取得し (S 3 0 0 2)、ユーザ情報データベース 2 3 0 内に保管されているユーザ情報からクリッピングサーバ 2 0 0 内のメニュー作成部 2 0 4 で、ユーザがマークした情報の一覧を表示するメニュー表示コンテンツを作成し (S 3 0 0 3)、メニュー表示コンテンツを携帯電話機 3 0 0 または受信設備 6 0 のテレビ受像機 6 0 0 に回線網 8 0 を介して送信する。ユーザは表示されたメニューから内容を閲覧したいものを選択し、希望の情報を閲覧することができる (S 3 0 0 4)。なお、ユーザ識別子 (個人識別子、端末識別子) はユーザ側から明示的に入力して送信してもよいし (予め設定したユーザ識別子を記憶して自動的に送信してもよい)、また呼設定等の手続において制御メッセージ中に含まれていてもよい。
- 25

以上で実施例 1 の説明を終了する。

## 〔実施例 2〕

つぎにこの発明の実施例 2 について説明する。この実施例は、放送設備 1 0 の編成装置 1 2 0 において HTML のコンテンツを生成し放送コンテンツとして外部記憶装置 1 1 0 に記憶し、さらに番組編成登録装置 1 2 2 でコンテンツに識別情報を付し、この後、クリッピングセンタ 2 0 の情報コンテンツデータベース 2 2 0 に登録するものである。その他の構成は基本的に実施例 1 と同様である。

図 9 は、この実施例の要部を示しており、この図において、放送設備 1 0 の編成装置 1 2 0 はコンテンツ生成装置 1 2 1 および番組編成登録装置 1 2 2 を有している。コンテンツ生成装置 1 2 1 は HTML で記述された外部コンテンツまたは内部コンテンツを指定して放送用のコンテンツを生成する。番組編成登録装置 1 2 2 は、放送時刻、放送チャネルを指定して番組編成を行ない、編成したコンテンツを外部記憶装置 1 1 0 に格納する。クリッピングセンタ 2 0 のクリッピングサーバ 2 0 0 は、放送するコンテンツ、放送時刻、放送チャネルを関連付けて情報コンテンツデータベース 2 2 0 に格納する。さらに、情報コンテンツデータベース 2 2 0 のコンテンツが、携帯電話機やナビゲーションシステムの各文書フォーマットに変換され、ユーザコンテンツサーバ 2 4 0 に保管される。

図 1 0 は、コンテンツの生成および編成登録の動作を示しており、この図において、HTML ファイルが指定され (S 4 0 0 0)、放送メディアに対応したコンテンツに変換され (S 4 0 0 1)、この後、外部記憶装置 1 1 0 に記憶される (S 4 0 0 2)。生成されたコンテンツが放送されるタイミングとチャネルを特定するパラメータが情報コンテンツデータベース 2 2 0 に格納される (S 4 0 0 3)。情報コンテンツデータベース 2 2 0 は例えば図 1 3 に示すようにコンテンツ等を格納する。

図 1 1 は、視聴者 (ユーザ) がマーク操作を行なったときの動作を示す。図

1 1において、視聴者はテレビ受像機600で、放送番組を視聴中(S5000)に当該番組情報を取得したいと考えたときに、リモコン610のマークボタン611(図3)または携帯電話機300のマークボタン301(図4)を操作し(S5001)、当該番組の番組情報をマークするためにクリッピングサーバ200内のコマンド受付部201に命令を送り(S5002)、クリッピングサーバ200内のコマンド受付部201はマークの要求により送られてくる、ユーザを識別する識別子と放送されている時刻およびチャネルを受信する。この結果、ユーザ情報DB230に番組の放送時刻およびチャネルがユーザ別に例えば図14に示すように格納管理される(S5003)。放送時刻の情報は放送設備10から送られてもよいし、受信設備のテレビ受像機600、リモコン610、携帯電話機300のクロックで計時した時刻情報(マーク時の時刻の時刻情報でもよい)でもよい。クリッピングセンタ20のクロックで計時した時刻情報(マークの要求を受信した時刻の情報)を用いるようにしてもよい。この場合、クリッピングセンタ20に放送時刻を通知する必要がなくなる。

図12は、マークした番組を閲覧するときの動作を示している。図12において、指定した番組の情報を携帯電話機等から閲覧したいユーザは、携帯電話機300の情報ボタン302(図4)を押下することによって、または回線接続可能なテレビ受像機600に付属の制御機器であるリモコン610の同様なボタン(図示しない)を押下することによってクリッピングサーバ200内のコマンド受付部201に、表示要求命令を送信する(S6001)。命令を受けたクリッピングサーバ200内のコマンド受付部201は、クリッピングサーバ200内の端末調査部202により、命令発信元の端末種およびユーザを特定する識別子または端末を特定する識別子を取得し(S6002)、ユーザ情報データベース230内に保管されているユーザ情報からクリッピングサーバ200内のメニュー作成部204で、ユーザがマークした情報の一覧を表示するメニュー表示コンテンツを作成し(S6003)、メニュー表示コンテンツを携帯電話機300またはテレビ受像機600に送信する。ユーザは表示さ

れたメニューから内容を閲覧したいものを選択し、希望の情報を閲覧することができる（S 6 0 0 4）。

以上で実施例 2 の説明を終了する。

- 5       なお、この発明は上述の実施例に限定されるものではなくその趣旨を逸脱しない範囲で種々変更が可能である。例えば、クリッピングセンタ 2 0 のクリッピングサーバ 2 0 0 のコマンド受付部 2 0 1 は T C P / I P 接続によりコマンドを送るようにしているが、C T I センタを用いて通話（制御信号）によりマークを行なってもよい。クリッピングサーバはインターネットに開放されていてもよい。この場合、移動体通信サービスの移動局はゲートウェイを介してクリッピングサービスにアクセスする。通常
- 10       の固定の情報端末もインターネットを介してクリッピングセンタの情報を閲覧できる。また、移動体通信網の運営会社の固有の packets 交換網に配置されていてもよい。この場合、この packets 交換網上の特別なサービスとしてクリッピングサービスを提供することができる。
- 15       また、番組を識別する情報（番組識別子やチャンネル、時刻情報）は、ユーザが入力するようにしてもよい。例えば、放送画面に番組識別子が表示され、これを入力する。時刻情報はマーク要求をサーバが受け取った時刻としてクリッピングサーバの時刻情報を利用してもよい。

- 20       また、リモコンや携帯端末機に専用の「マーク」ボタンや「情報」ボタンを設けずに、メニューにより「マーク」や「情報」を指示するようにしてもよい。例えば、i - m o d e（商標）の携帯電話機の専用サービスとして提供し、メニューの選択により「マーク」や「情報」の操作を行なってもよい。もちろん、通常のウェブサイトにおけるメニューによりそれらを選択してもよい。もちろん、通常のパーソナルコンピュータを用いて「マーク」の操作や「情報」の操作を行なってもよい。ユーザを特定する情報としては通常のユーザ I D のほかに加入者番号（電話番号）、I P アドレス、M A C アドレス、加入者番号にサブアドレスや制御コードを付加したもの等を用いることができる。固定電話機、
- 25       携帯電話機を用いて「マーク」や「情報」の操作を行なう場合、呼設定メッセ



ージにユーザ特定情報等を含ませて送ることができる。発信者番号通知サービスを用いて発信者の加入者番号を取得してユーザ特定情報とすることも可能である。

## 5 産業上の利用可能性

以上説明したように、この発明によれば、放送で視聴したコンテンツまたは関連のコンテンツを簡易に外部のデータベースに登録でき、その後、どこからでも取り出すことができる。

## 請求の範囲

1. 放送信号を受信する手段と、  
受信した放送信号に含まれる放送コンテンツを再生する手段と、
- 5 ユーザ特定情報と、上記放送コンテンツまたは上記放送コンテンツに関連する関連コンテンツを特定するコンテンツ特定情報とを含む関係付け要求であって、上記ユーザ特定情報により特定されるユーザアカウントに上記コンテンツ特定情報により特定されるコンテンツを関係付けるよう要求する関係付け要求を、所定の送信宛先に送信する手段と、
- 10 ユーザ特定情報により特定されるユーザアカウントに關係付けられているコンテンツの送信を要求する手段とを有することを特徴とする情報アクセス装置。
2. ユーザ特定情報と、放送コンテンツまたは上記放送コンテンツに関連する関連コンテンツを特定するコンテンツ特定情報とを含む関係付け要求であって、
- 15 上記ユーザ特定情報により特定されるユーザアカウントに上記コンテンツ特定情報により特定されるコンテンツを関係付けるよう要求する関係付け要求を、所定の送信宛先に送信する手段と、  
ユーザ特定情報により特定されるユーザアカウントに関連付けられているコンテンツの送信を要求する手段とを有することを特徴とする情報アクセス装置。
- 20
3. ユーザ特定情報と、放送コンテンツまたは上記放送コンテンツに関連する関連コンテンツを特定するコンテンツ特定情報とを含む関係付け要求であって、上記ユーザ特定情報により特定されるユーザアカウントに上記コンテンツ特定情報により特定されるコンテンツを関係付けるよう要求する関係付け要求を、所定の
- 25 の送信宛先に送信するコンテンツ関連付け要求装置。
4. 上記関連付け要求は加入者網を介して送信される請求項3記載のコンテンツ関連付け要求装置。

5. 加入者網を介して通話またはパケット通信を行なう機能を有する請求項 4 記載のコンテンツ関連付け要求装置。

6. コンテンツ関連付け要求装置本体と別体に構成され、加入者網を介して通話またはパケット通信を行なう機能を有する通信装置に、上記関連付け要求を送信するように指示する請求項 4 記載のコンテンツ関連付け要求装置。

7. 上記送信宛先は加入者番号により特定される請求項 3 記載のコンテンツ関連付け要求装置。

10

8. 上記送信宛先は IP アドレスを含む宛先指定により特定される請求項 3 記載のコンテンツ関連付け要求装置。

15

9. 上記送信宛先は URL (ユニフォームリソースロケータ) により特定される請求項 3 記載のコンテンツ関連付け要求装置。

10. 放送信号を受信してこの放送信号に含まれる放送コンテンツを再生する再生装置から、上記放送コンテンツまたは上記放送コンテンツに関連する関連コンテンツを特定するコンテンツ特定情報を受け取る手段と、

20

ユーザ特定情報と、上記コンテンツ特定情報とを含む関係付け要求であって、上記ユーザ特定情報により特定されるユーザアカウントに上記コンテンツ特定情報により特定されるコンテンツを関係付けるよう要求する関係付け要求を、所定の送信宛先に送信する手段とを有することを特徴とするコンテンツ関連付け要求装置。

25

11. 上記再生装置を遠隔制御する機能を有する請求項 10 記載のコンテンツ関連付け要求装置。

12. 上記再生装置に通信機能を設け、上記通信機能に対して上記ユーザ特定

情報および上記関連付け要求の送信を指示する請求項 1 1 記載のコンテンツ関連付け要求装置。

1 3 . 放送コンテンツを含む放送信号を送信する手段と、

- 5      上記放送信号に含まれる放送コンテンツまたは上記放送コンテンツに関連する関連コンテンツを上記放送コンテンツまたは上記関連コンテンツを特定するコンテンツ特定情報に関連付けて記憶するコンテンツ記憶手段と、

- ユーザ装置から送信されてくる関連付け要求であって、ユーザ特定情報およびコンテンツ特定情報を含み、上記ユーザ特定情報により特定されるユーザアカウントに上記コンテンツ特定情報により特定されるコンテンツを関係付けるよう要求する関係付け要求を、受信する手段と、
- 10

上記関連付け要求に基づいて上記ユーザ特定情報により特定されるユーザアカウントに上記コンテンツ特定情報により特定されるコンテンツを関連付ける手段と、

- 15      ユーザ装置から送信されてくるコンテンツ送信要求に基づいて対応するユーザアカウントに関連付けられているコンテンツを、上記コンテンツ記憶手段から取り出して、上記ユーザ装置に送信する手段とを有することを特徴とする情報提供装置。

- 20      1 4 .    上記コンテンツ特定情報は上記放送信号に含まれるコンテンツ識別子である請求項 1 3 記載の情報提供装置。

- 1 5 .    上記コンテンツはXML（拡張可能マークアップ言語）で記述され上記コンテンツ識別子は上記コンテンツ識別子を表すタグでマークアップされる請求項 1 4 記載の情報提供装置。
- 25

1 6 .    上記コンテンツはBML（ブロードキャストマークアップ言語）で記述され上記識別子は上記コンテンツ識別子を表すタグでマークアップされる請求項 1 4 記載の情報提供装置。

17. 上記コンテンツはHTML（ハイパーテキストマークアップ言語）で記述され上記コンテンツ識別子はメタタグでマークアップされる請求項14記載の情報提供装置。

5

18. 上記コンテンツ特定情報は放送チャネルを少なくとも含み、上記放送チャネルと所定の時刻情報とに基づいてコンテンツを特定する請求項13記載の情報提供装置。

10 19. 上記所定の時刻情報は上記ユーザ装置で管理される時刻情報であり、上記ユーザ装置から送信される上記コンテンツ特定情報に含まれる請求項18記載の情報提供装置。

15 20. 上記所定の時刻情報は情報提供装置本体で管理される時刻情報であり、上記コンテンツ特定情報に含まれる上記放送チャネルと上記情報提供装置本体で管理される時刻情報とに基づいてコンテンツを特定する請求項18記載の情報提供装置。

20 21. 上記放送チャネルの情報は放送信号を選択するチューナ装置から取得される請求項18記載の情報提供装置。

22. 上記ユーザ装置の種別を判別する手段とをさらに有し、上記ユーザ装置に合致したコンテンツを上記ユーザ装置に送信する請求項13記載の情報提供装置。

25

23. 放送信号に含まれる放送コンテンツまたは上記放送コンテンツに関連する関連コンテンツを、上記放送コンテンツまたは上記関連コンテンツを特定するコンテンツ特定情報に関連付けて記憶するコンテンツ記憶手段と、

ユーザ装置から送信されてくる関連付け要求であって、ユーザ特定情報および

コンテンツ特定情報を含み、上記ユーザ特定情報により特定されるユーザアカウントに上記コンテンツ特定情報により特定されるコンテンツを関係付けるよう要求する関係付け要求を、受信する手段と、

上記関連付け要求に基づいて上記ユーザ特定情報により特定されるユーザアカウントに上記コンテンツ特定情報により特定されるコンテンツを関連付ける手段と、

ユーザ装置から送信されてくるコンテンツ送信要求に基づいて対応するユーザアカウントに関連付けられているコンテンツを、上記コンテンツ記憶手段から取り出して、上記ユーザ装置に送信する手段とを有することを特徴とする情報提供装置。

24. 放送信号に含まれる放送コンテンツまたは上記放送コンテンツに関連する関連コンテンツを、上記放送コンテンツまたは上記関連コンテンツを特定するコンテンツ特定情報に関連付けて記憶するコンテンツ記憶手段と、

ユーザ装置から送信されてくる関連付け要求であって、ユーザ特定情報およびコンテンツ特定情報を含み、上記ユーザ特定情報により特定されるユーザアカウントに上記コンテンツ特定情報により特定されるコンテンツを関係付けるよう要求する関係付け要求を、受信する手段と、

上記関連付け要求に基づいて上記ユーザ特定情報により特定されるユーザアカウントに上記コンテンツ特定情報により特定されるコンテンツを関連付ける手段と、

ユーザ装置の種別を判別する手段と、

ユーザ装置から送信されてくるコンテンツ送信要求に基づいて対応するユーザアカウントに関連付けられているコンテンツを、上記コンテンツ記憶手段から取り出して、上記判別した種別に応じたコンテンツフォーマットで上記ユーザ装置に送信する手段とを有することを特徴とする情報提供装置。

25. 上記コンテンツフォーマットは、HTML、コンパクトHTML、WMLおよびHDMLのコンテンツフォーマットを含む請求項24記載の情報提供装

置。

26. 放送信号に含まれる放送コンテンツまたは上記放送コンテンツに関連する関連コンテンツを、上記放送コンテンツまたは上記関連コンテンツを特定する  
5 コンテンツ特定情報に関連付けて記憶するコンテンツ記憶手段と、

ユーザ装置から送信されてくる関連付け要求であって、ユーザ特定情報およびコンテンツ特定情報を含み、上記ユーザ特定情報により特定されるユーザアカウントに上記コンテンツ特定情報により特定されるコンテンツを関係付けるよう要求する関係付け要求を、受信する手段と、

- 10 上記関連付け要求に基づいて上記ユーザ特定情報により特定されるユーザアカウントに上記コンテンツ特定情報により特定されるコンテンツを関連付ける手段と、

- ユーザ装置から送信されてくるコンテンツメニュー送信要求に基づいて対応するユーザのアカウントに関連付けられている所定のコンテンツのメニューを生成  
15 して上記ユーザ装置に送信する手段と、

ユーザ装置から送信されてくる上記メニューに基づく選択指示に基づいて選択されたコンテンツを、上記コンテンツ記憶手段から取り出して、上記ユーザ装置に送信する手段とを有することを特徴とする情報提供装置。

- 20 27. 放送信号に含まれる放送コンテンツまたは上記放送コンテンツに関連する関連コンテンツを記憶するコンテンツ記憶手段と、

上記放送コンテンツまたは上記関連コンテンツを特定するコンテンツ特定情報に基づいて、ユーザアカウントごとに上記放送コンテンツまたは上記関連コンテンツを関係付ける手段と、

- 25 ユーザ装置からの送信要求に基づいて対応するユーザアカウントに関連付けられている上記放送コンテンツまたは関連コンテンツを上記コンテンツ記憶手段から取り出して送信する手段とを有することと特徴とする情報提供装置。

28. 放送信号を受信するステップと、

- 受信した放送信号に含まれる放送コンテンツを再生するステップと、
- ユーザ特定情報と、上記コンテンツ特定情報とを含む関係付け要求であって、上記ユーザ特定情報により特定されるユーザアカウントに上記コンテンツ特定情報により特定されるコンテンツを関係付けるよう要求する関係付け要求を、所定の送信宛先に送信するステップと、
- ユーザ特定情報により特定されるユーザアカウントに關係付けられているコンテンツの送信を要求するステップとを有することを特徴とする情報アクセス方法。

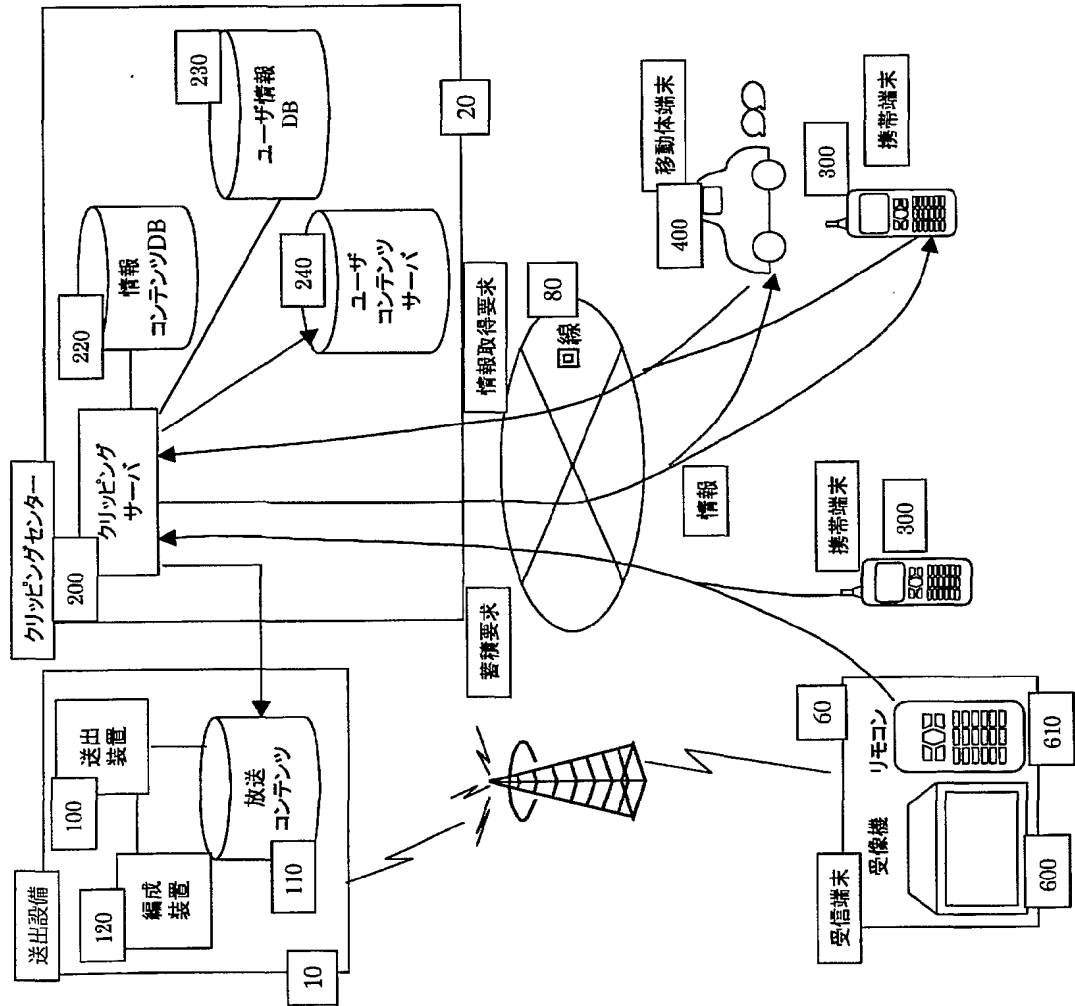
29. 放送信号を受信するステップと、
- 10 受信した放送信号に含まれる放送コンテンツを再生するステップと、
- ユーザ特定情報と、上記コンテンツ特定情報とを含む関係付け要求であって、上記ユーザ特定情報により特定されるユーザアカウントに上記コンテンツ特定情報により特定されるコンテンツを関係付けるよう要求する関係付け要求を、所定の送信宛先に送信するステップと、
- 15 ユーザ特定情報により特定されるユーザアカウントに關係付けられているコンテンツの送信を要求するステップとをコンピュータに実行させるために用いるコンピュータプログラムを記録した、情報アクセス用のコンピュータ読取り可能な記録媒体。

- 20 30. 放送コンテンツを含む放送信号を送信するステップと、
- 上記放送信号に含まれる放送コンテンツまたは上記放送コンテンツに関連する関連コンテンツを上記放送コンテンツまたは上記関連コンテンツを特定するコンテンツ特定情報に関連付けて記憶するステップと、
- ユーザ装置から送信されてくる関連付け要求であって、ユーザ特定情報および
- 25 コンテンツ特定情報を含み、上記ユーザ特定情報により特定されるユーザアカウントに上記コンテンツ特定情報により特定されるコンテンツを関係付けるよう要求する関係付け要求を、受信するステップと、
- ユーザ特定情報に基づいて対応するユーザアカウントに上記コンテンツ特定情報により特定されるコンテンツを関連付けるステップと、

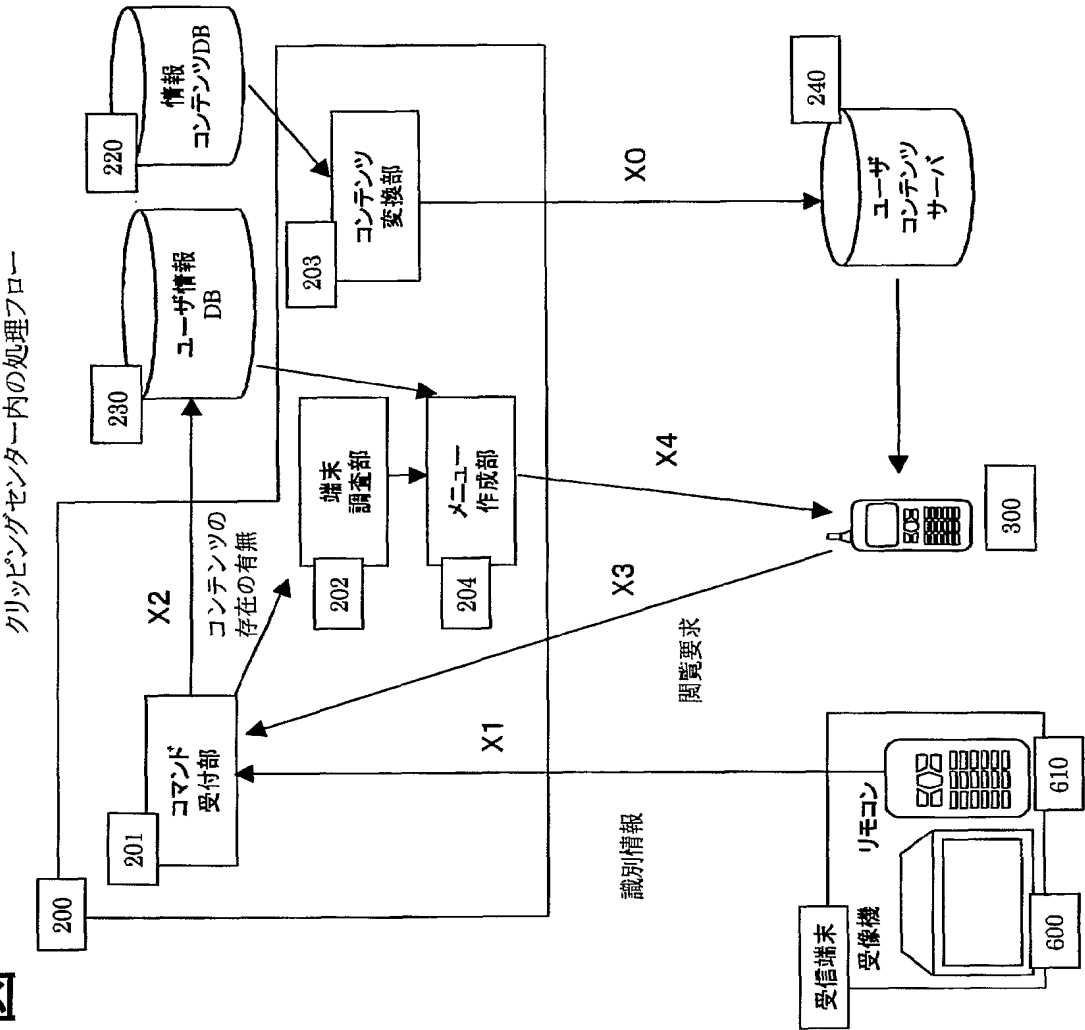


ユーザ装置から送信されてくるコンテンツ送信要求に基づいて対応するユーザアカウントに関連付けられているコンテンツを上記ユーザ装置に送信するステップとを有することを特徴とする情報提供方法。

第1図

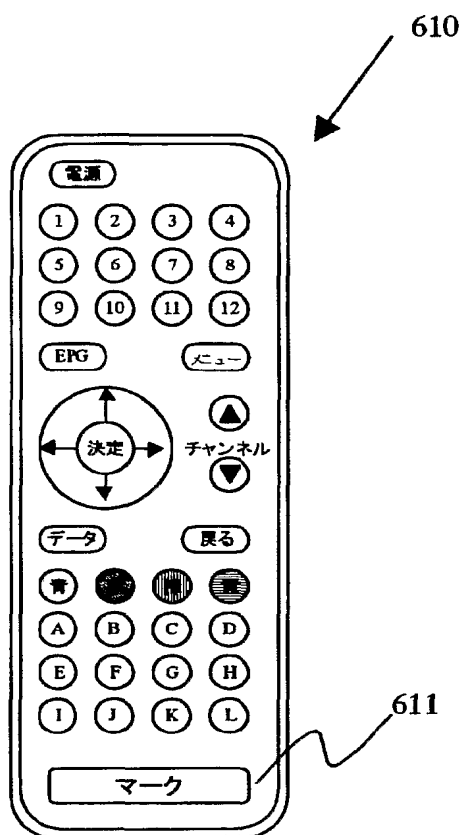


第2図



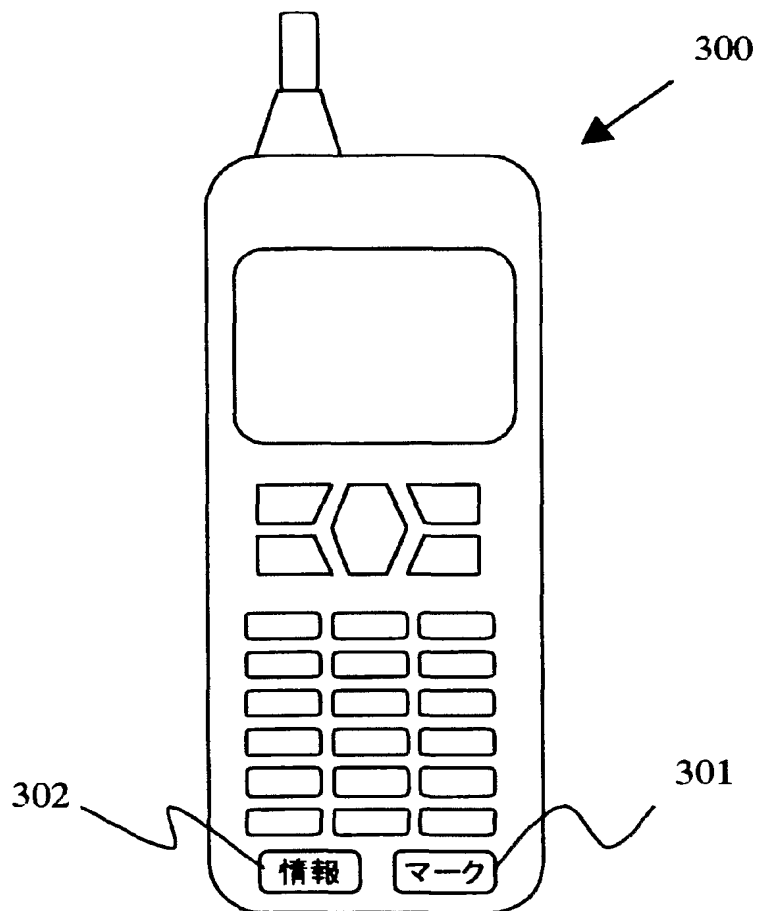
3/11

## 第3図



4/11

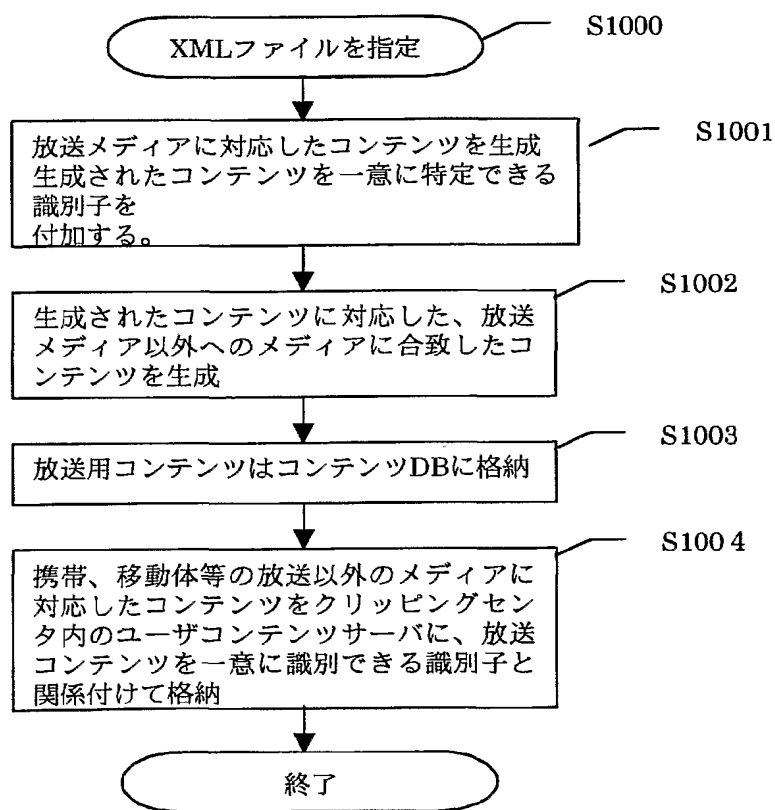
## 第4図



5/11

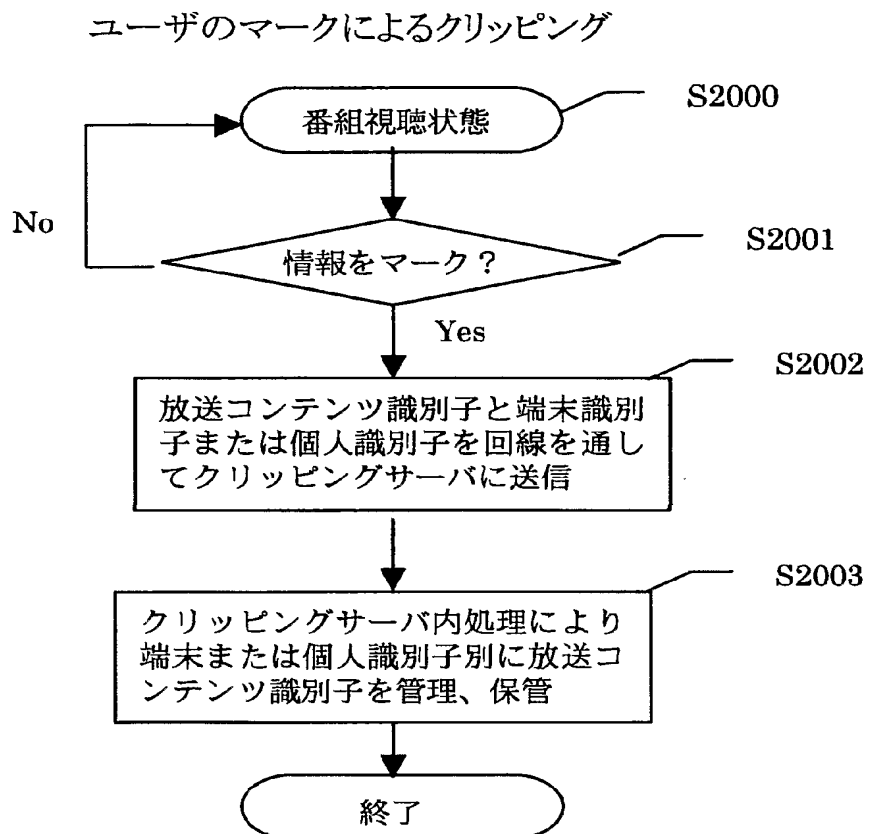
## 第5図

コンテンツ生成および編成登録

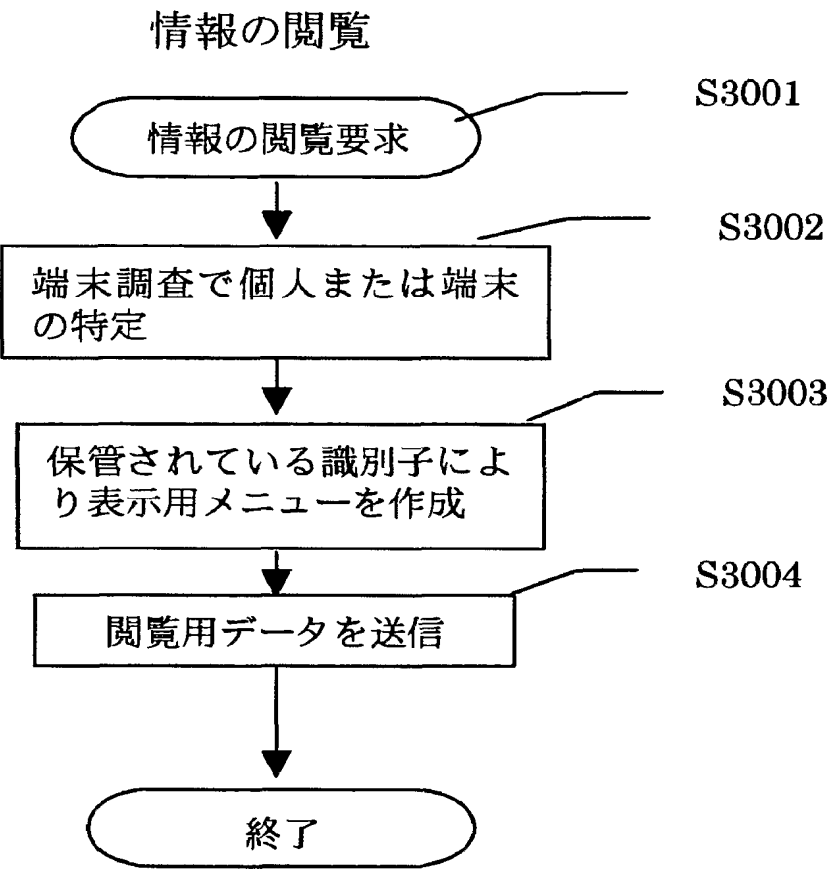


6/11

## 第6図



第7図



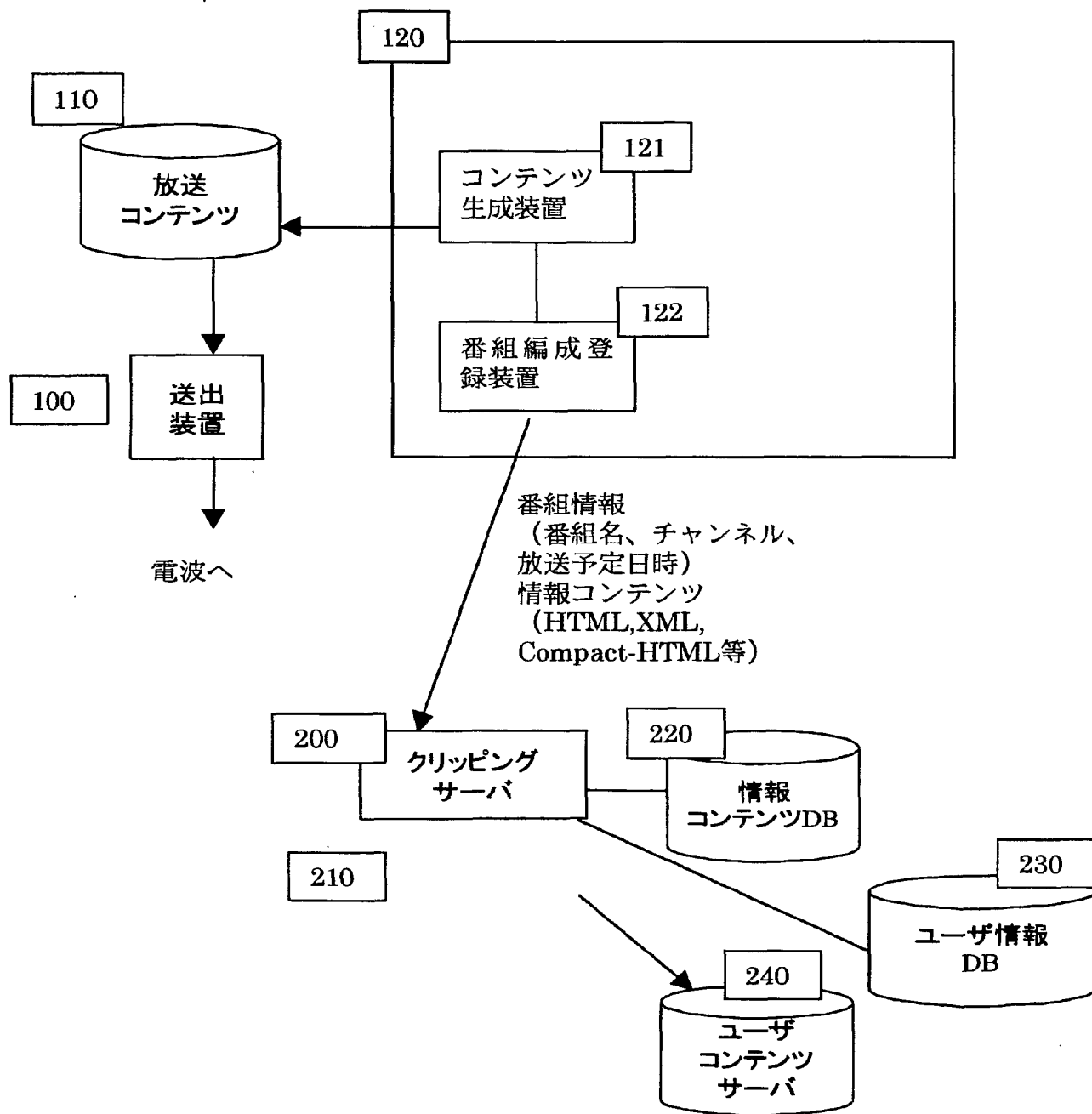
第8図

ユーザ識別子	番組識別子



8/11

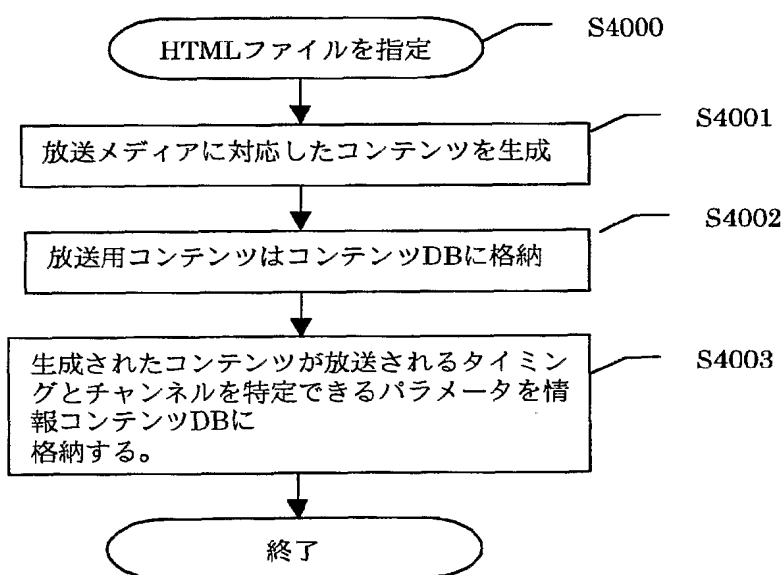
## 第9図



9/11

## 第10図

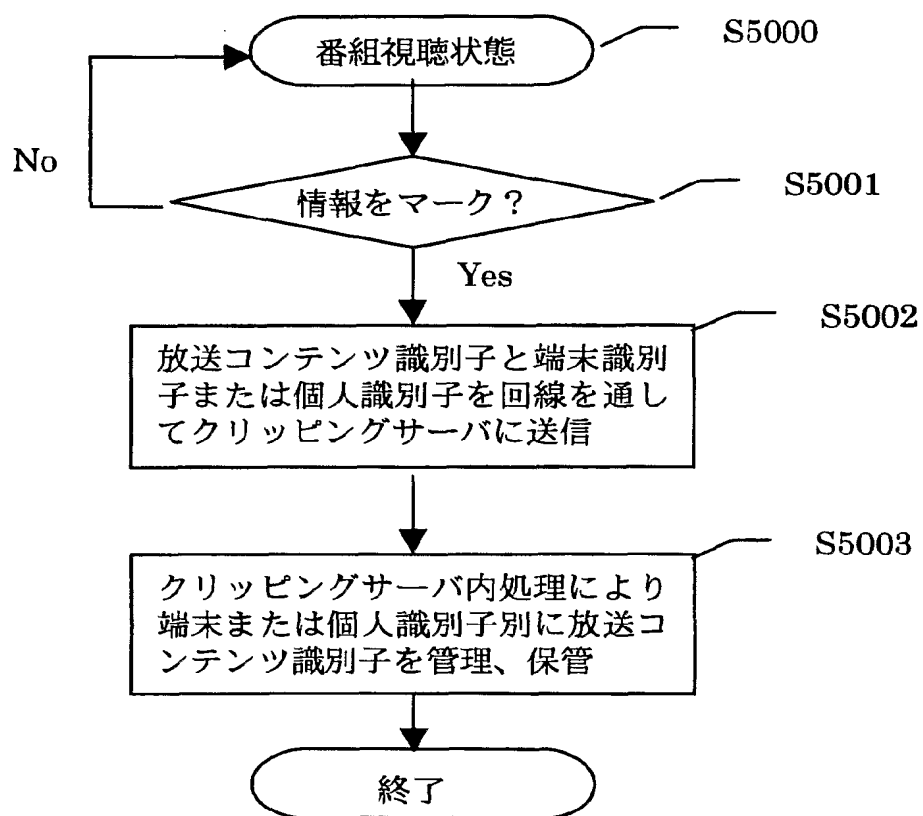
コンテンツ生成および編成登録



10/11

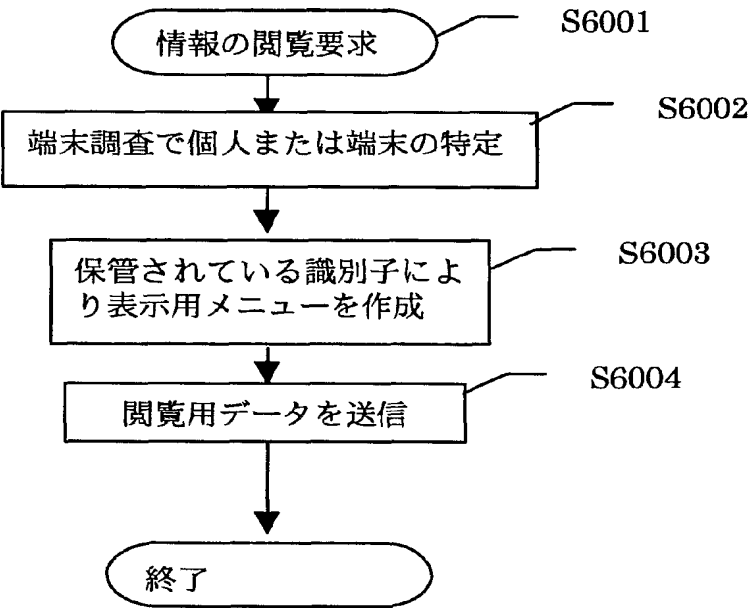
## 第11図

ユーザのマークによるクリッピング



第12図

情報の閲覧



第13図

開始時刻	終了時刻	放送チャンネル	コンテンツファイル名

コンテンツ  
ファイル

第14図

ユーザ識別子	登録時刻	放送チャンネル

## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP01/06267

## A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl<sup>7</sup> H04N7/173

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

## B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl<sup>7</sup> H04N7/173

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2001
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2001	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2001

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

## C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 11-136658 A (Sanyo Electric Co., Ltd.), 21 May, 1999 (21.05.99) (Family: none)	1-30
A	JP 11-298879 A (Sony Corporation), 29 October, 1999 (29.10.99) (Family: none)	1-30
A	JP 2000-183836 A (Funai Electric Co., Ltd.), 30 June, 2000 (30.06.00) (Family: none)	1-30
A	JP 2000-90033 A (NTT Ido Tsushinmo K.K.), 31 March, 2000 (31.03.00) (Family: none)	1-30
A	JP 2000-187666 A (NTT Data Corporation), 04 July, 2000 (04.07.00) (Family: none)	1-30

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.☐ See patent family annex.

\* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier document but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search  
06 September, 2001 (06.09.01)

Date of mailing of the international search report  
18 September, 2001 (18.09.01)

Name and mailing address of the ISA/  
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

## A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int cl<sup>7</sup> H04N7/173

## B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int cl<sup>7</sup> H04N7/173

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報 1922-1996  
 日本国公開実用新案公報 1971-2001  
 日本国登録実用新案公報 1994-2001  
 日本国実用新案登録公報 1996-2001

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

## C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
A	J P 11-136658 A (三洋電機株式会社) 21. 5月. 1999 (21. 05. 99) (ファミリー無し)	1-30
A	J P 11-298879 A (ソニー株式会社) 29. 10月. 1999 (29. 10. 99) (ファミリー無し)	1-30
A	J P 2000-183836 A (船井電機株式会社) 30. 6月. 2000 (30. 06. 00) (ファミリー無し)	1-30
A	J P 2000-90033 A (エヌ・ティ・ティ移動通信網株式会社)	1-30

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

## \* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの  
 「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの  
 「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)  
 「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献  
 「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの  
 「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの  
 「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの  
 「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

06. 09. 01

国際調査報告の発送日

18.09.01

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

山崎 達也



5P

8121

電話番号 03-3581-1101 内線 3581

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
A	31. 3月. 2000 (31. 03. 00) (ファミリー無し) JP 2000-187666 A (株式会社エヌ・ティ・ティ・データ) 4: 7月. 2000 (04. 07. 00) (ファミリー無し)	1-30